

【委員会における議論のポイント】

今回の格付け結果は、A評価が1名、B評価が8名と、総じて高い評価となった。

A評価にならなかった理由は、「雪印種苗の親会社である雪印メグミルクに対する調査が不十分である」という1点に尽きる。B評価をした全ての委員が、この点をマイナス評価した。

「子会社が設置した第三者委員会の調査スコープに、親会社を含めることを求めるべきか？親会社を含めなかったことをマイナス評価できるか？」という論点は、ノバルティスファーマ株式会社が設置した社外調査委員会が公表した調査報告書を対象とした第3回格付けの際にも、当委員会で熱心に討議された論点であった。

この論点が正面から問われた本調査報告書について、当委員会では再度討議を重ねて、上記の結論に至った。

この点を除けば、委員の独立性と専門性、調査スコープの的確性、事実認定の説得力、原因分析の深度、再発防止提言の実効性などの諸点で、全ての委員が本調査報告書を高く評価しており、第三者委員会報告書のお手本という評価を与えている。

以上